

# 令和2年度 第3回 学校評議員会議事録

日 時 令和3年2月16日（火）14:00～

場 所 本校小会議室

参加者 評議員 勝 俣 光 司 様 （富士吉田市立下吉田中学校長）  
鶴 田 清 司 様 （都留文科大学教養学部学校教育学科教授）  
栗 井 晶 子 様 （公益財団法人栗井英朗環境財団法人 代表理事）

職 員 校長・事務長・第一教頭・第二教頭・総務部職員（記録）  
記録：総務部

## 次 第

- 1 校長挨拶
  - 2 令和2年度年間活動報告（説明：谷内）
    - 第1回 令和2年6月30日（火）  
参加評議員 正木 啓子 様 宮下 美佐江 様  
栗井 晶子 様 勝俣 光司 様  
内容 休業期間中の本校の取組  
学校運営の概要説明
    - 第2回 令和2年10月26日（月）  
参加評議員 鶴田 清司 様 宮下 美佐江 様  
栗井 晶子 様 勝俣 光司 様  
内容 各学年代表生徒との懇談
    - 第3回 令和3年2月16日（火）
  - 3 学校運営協議会設置について（説明：谷内）

令和2年度で学校評議員会は終了し、令和3年4月1日に学校運営協議会設置  
予定です。  
詳細は別紙参照
  - 4 学校評価について（説明：谷内） 別紙資料参照
    - ①校内評価（生徒保護者教員分）の結果について
    - ②学校評議委員からのご意見・ご要望について （概略説明）
    - ③学校関係者評価について
  - 5 懇談・緒連絡その他
- 
- 1 校長挨拶  
～前回から今回までの状況報告～
    - ①12月新型コロナウイルス感染症の発生に関して
      - ・本校でも集団感染が発生
      - ・学年閉鎖、学級閉鎖と手順を踏んで終息に向けていった
      - ・保健所の指導を受けて、全校職員・生徒の検査を実施。
      - ・デスクガードの導入等をはかりながら終息させた
    - ②3学年の進路状況。
      - ・共通テストも終了し、国公立2次試験に向けて取り組んでいる
      - ・卒業式に関しては、昨年同様各家庭1名の参列にとどめる
    - ③2学年の修学旅行について
      - ・方面・日程等をずらしながら検討してきたが今年度は中止を決定
    - ④新年度から ITC 教育の推進に向けて、機器と設備の整備が進行中

- 2 令和2年度年間活動報告  
【資料を用いて説明：谷内教頭】
- 3 学校運営協議会設置について  
【資料を用いて説明：谷内教頭】  
学校評議員会→学校運営協議会へと移行
- 4 学校評価について  
【資料を用いて説明】（谷内教頭）
  - 生徒アンケート
    - 1 学年  
〔問題番号8〕について ・教員からのアプローチも必要
    - 2 学年  
〔問題番号3〕について ・学習のための目標が持てていない  
〔問題番号10〕について ・SDGsへの意識の高まりはうかがえる
    - 3 学年  
・全般を通じて伸びてきている
  - 教職員アンケート  
〔問題番号7・8・12・13〕について ・70%を下回っている  
・節電・節水の意識が低い
  - 保護者アンケート  
〔問題番号3・4・16〕について ・70%を下回っている
  - 外部評価アンケート結果  
【資料提示・確認】

#### 《意見交換》

##### 勝俣評議員

- ・1学年が、入学時何もできなかったと思うが、先輩の姿を見て活動できたのではないか。
- ・2学年の中だるみは、高校でも存在するのか？

##### 古屋校長

- ・2学年の中ごろからは、模試等において英数国の3教科から、理社も入ってくるので、そのことへの対応から、個人個人の受験に向けての意識の差が表れてくるのではないか。しかしこれも3学年へと進んでいくと、次第に解消されていく。

##### 谷内校長

- ・先輩の姿を見て学ぶことが、例年に比べると思うようにできなかったことが見て取れる。
- ・2学年は、修学旅行の延期（現実には中止）が、受験に向けてのタイミングが取りづらかったのではないか。

##### 廣瀬教頭

- ・応援練習等も動画配信などを通じて、出来ないではなくどうすれば継承できるかを工夫した。
- ・富士山学の講義等においてもZoom等を活用して取り組んだ。

##### 勝俣評議員

- ・合唱大会を前に感染が発生し、行事を実施することができなかったが、何とか工夫していきたいと感じた。

##### 鶴田評議員

- ・コロナによる制約は、学校現場に大きな障壁となったはずだが、アンケートの回答結果を見る限り、生徒たちは前向きに学校生活を送っていたことが理解できる。
- ・自らの高校時代と比べても、生徒が授業を楽しんでいるというのはとてもうらやましい。
- ・大学での授業も、ほとんどがオンラインであった。対面でやりたかったが、オンラインのメリットも見えてきた。具体的には、他の生徒がどんな意見をもっているのかを多くの学生に紹介することができた。それは学生にとっても好評であった。

- ・対面でなくても、オンラインを用いたり組み合わせたりすることで大学のみに限らず、小中高校でも実施することに努めてほしい。

#### 粟井評議員

- ・アンケートを見た感想としては、全体的にモチベーションを高く持って日々の生活を送っていることに感心した。その中で、2学年の数字の落ち込み部分は今後検討や取り組みが必要かもしれない。
- ・生徒は、ケロッとしているようでも心の中は見えづらいので、日々接する先生方に見守ってもらいたい。

#### 谷内教頭

- ・最終的な学校関係者評価については、こちらでまとめさせていただきご了承していただきたいと思います。

#### 廣瀬教頭

- ・この場で、4段階評価のご意見をお願いします。

#### ◎評議員の総意

重点目標1→評価4

重点目標2→評価4

重点目標3→評価3

#### 5 懇談・諸連絡その他

終了